

防災ニュース☆

NO・20

野路自主防災組織事務局

平成23年12月15日

発行責任者 福井太加雄

23年度町内避難訓練を実施しました。

- ◎各集合場所ごとに「車椅子」を1台配備して、車椅子に乗った人を誘導する訓練を実施しました。
- ◎今年の統一行動をするグループは、広報回覧のグループごとにしました。
- ◎集結場所での役割分担を明確にして、スムーズな各種の訓練を進行させた。

1、第一次集合場所ごとに責任者・班長を配置し統一行動を行い、移動には避難誘導中の旗を前後にもち行動しました。

参加者 660名

車椅子で誘導しました！



2、普通救命講習

あなたも救える命がある「突然の心停止から命を守る」そのための手法を、模型人形やAEDに実際に触れ、救命体験を南消防署員の指導で体験をしました

3、煙体験訓練

設置された「煙体験用テント」でテント内の充満された煙の中を避難する訓練を、多くの参加者が体験しました。



4、天ぷら油火災の消火訓練

天ぷら火災訓練を2ヶ所を実施
消火方法を南消防署員の指導のもと
ア火元を見定めて手前から消火する。
イ風上から放射する。
ウ放射は火が完全に消えるまで行う。
等実践で教わりました。



5、参加者による消火バケツリレー訓練

参加者全員が4列に並び、100個のバケツで消火バケツリレーを実施しました。

6、女性消防隊の放水訓練を実施

バケツリレーで貯めた水を活用し
女性消防隊が小型動力ポンプ2台で
日頃の訓練の成果を発揮しました。



7、女性部各団体に炊き出し訓練を実施

健康推進委員・エルダー婦人会・日赤奉仕団
更生保護女性会のみなさんで早朝から炊き出し
の「豚汁」の調理を願い、参加者全員に振舞い
を実施しました。



備え万全 AEDを町内6ヶ所に設置

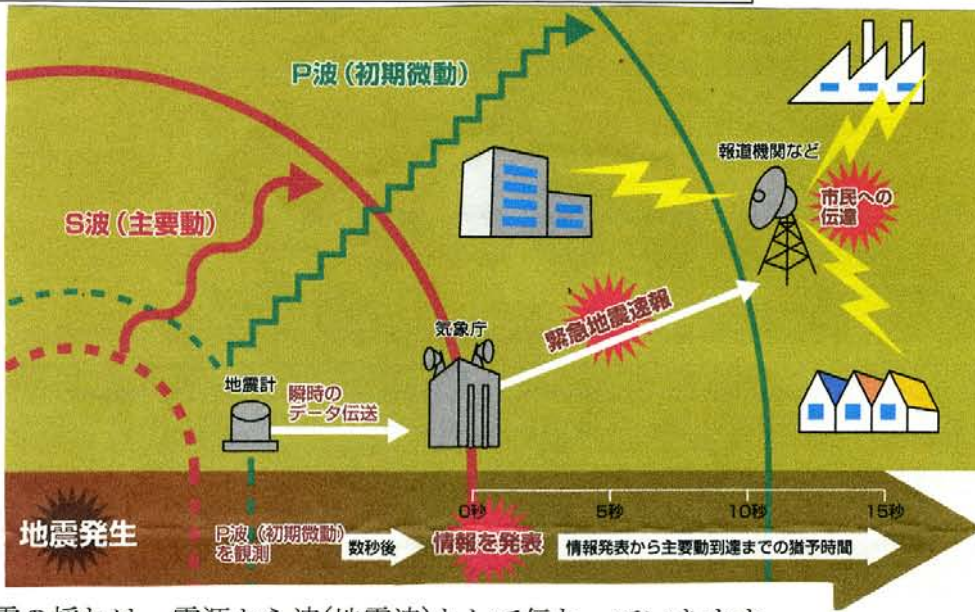


大震災が発生したときに「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが求められます。減災の視点に備え「災害時たすけあいネットワーク」登録制度を19年11月から登録申請をスタートさせ、平成23年11月末現在575軒（72.8%）が登録しています。

野路自主防災会はAED（自動体外式除細器）を区事務所・野路保育園・コミセン前・新宮会館前・小野山集会所前・御林山集会所前に設置し緊急の対応に備えています。



緊急地震速報のしくみ



地震発生直前

- 地震の揺れは、震源から波(地震波)として伝わっていきます。
- 地震波には、主にP波(初期微動)とS波(主要動)の2種類があります。
まず弱い揺れのP波が伝わり、次に強い揺れのS波が伝わります。地震による被害のほとんどは、S波によってもたらされます。

P波(カタカタ揺れる波) 秒速約7キロメートル
S波(ユサユサ揺れる波) 秒速約4キロメートル

- 緊急地震速報では、震源の近くで地震波(P波)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。そして強い揺れ(S波)が始まる数秒から数十秒前に、すばやくお知らせします。

《直下型地震や震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。》

地震の揺れと想定される被害

震度0	●人は揺れを感じない。	震度5弱	●棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ●窓ガラスが割れることがある。 ●電柱が揺れているのがわかる。
震度1	●屋内で静かにしている人の一部が、わずかな揺れを感じる。	震度5強	●多くの人が行動に支障を感じる。 ●固定していない家具や自動販売機が倒れることがある。 ●自動車の運転が困難になる。
震度2	●屋内で静かにしている人の多くが揺れを感じる。 ●つり下がった電灯などがわずかに揺れる。	震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い住宅では、倒壊するものもある。
震度3	●屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ●棚にある食器類が音を立てることがある。 ●電線が少し揺れる。	震度6強	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動、転倒するものが増える。 ●耐震性の高い住宅でも、壁などにひび割れがみられることがある。
震度4	●ほとんどの人が驚く。 ●つり下げたものは大きく揺れ、棚にある食器類が音を立てる。	震度7	●揺れにほんろうされる。 ●ほとんどの家具が移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 ●耐震性の高い住宅でも、まともに揺れることがある。

※地震の規模を示すマグニチュードと地表での揺れの程度を示す震度は別物です。
マグニチュードが大きくても震源が遠い場合や深い場合は震度は小さく、マグニチュードが小さくても震源が近い場合や浅い場合は震度は大きくなります。